

エジプトの TOKKATSU は子どもの成長をどう変えたのか ～児童インタビューから～

○平野 修 ○土屋 愛 日野陽平 小泉琢磨 山田真紀
(尚綱大学) (熊谷市立久下小学校) (大阪大学大学院) (深谷市立藤沢小学校) (椋山女学園大学)

1. 本発表の目的

日本においては当たり前に行われてきた特別活動は、子どもたちの人格形成において有効であるという認識はあるものの、一方では、その教育成果が見えにくく、時に「体験あって学びなし」といった批判を受けることもある。そこで、7年前に日本型教育として自国にはなかった特別活動を導入したエジプトにおいて、子どもたちの意識や行動にどのような変容が見られたのかを検証することで特別活動の教育的な意義や役割について再認識していきたいと考えた。

この発表では、昨年末に行ったエジプト日本学校 (EJS) での子どもたちのインタビュー調査の分析結果をもとに、特別活動がエジプトの子どもたちにもたらした影響と教育的効果、さらには、エジプトの子どもたちから見えてきた、特別活動が育成する資質・能力について言及していくことを目的としている。

2. 本発表の内容

(1) インタビューの実施

本インタビューは、2023年12月末に文部科学省 EDU-Port ニッポン調査研究の助成を受けた「非認知能力の育成に向けた特活の国際化と質保証に関する研究」チームがエジプトに渡航して行ったものである。

実施時期：2023年12月25日～28日

対象校：カイロ周辺のエジプト日本学校 (EJS) 3校

対象者：EJS の4年生～6年生の児童 15人

時間：30分

実施方法：通訳者をはさみ、インタビューガイドに沿って研究員と児童1対1で行う。

(2) 子どもの意識の変容

児童が自身の変容についてインタビューで答えている内容の共通点を以下に挙げる。

- ①自分の意見を恥ずかしがらずに主張できるようになった。
- ②「自分の意見が正しい」という考えから、「友達の意見も聞こう」という考えに変わった。
- ③けんかをして、自分たちで話し合っ解決し、仲直りできるようになった。
- ④先生との関係性がよくなった。

(3) 特別活動がもたらした教育的効果

児童インタビューでの回答を資質・能力をカテゴリーとして整理してみた。

資質・能力	主な子どもの言葉から	読み取れる変容
多様性の受容	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は自分の意見がいつも正しいと思っていたが、今は他の人の意見を聞くことができるようになった。 ・以前は反対意見を受け入れられなかったが、今は他の人の意見をよく聞けるようになり、賛成してもらえるように説得する。 ・個人でやる方がいいと思っていたが、今はみんなでやるのが好きになった。 ・障害のある子も楽しめるような運動会をすることができた。 	自己主張が強く、他の意見を受け入れることが苦手とされているエジプトの子どもたちが、学級会を通して自分とは違う個性や意見に触れることで多様な考えを受け入れ、他者を認め合うことができるようになった。
課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・反対意見などたくさん出ても、相談して最後に一つの意見にまとめるのが好き。 ・反対する人にもきちんと説明して賛成までもっていける場所。 ・自分の間違っているところを学級会を通して改善できる。他のやり方を知ることができるようになった。 	これまで、問題が起こると先生が解決していたエジプトにおいて、先生に任せるとはならず、自分たちで意見を出し合い、問題を解決していくことが自分たちにとっての納得につながることができるようになった。
人間関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うことを通じて、仲間のことを考えられるようになった。 ・学級会を通して、同級生と仲良くなり、自分の病気のことも気遣ってもらえるようになった。 ・相手への敬意、協力を学ぶことができた。 ・楽しくない人が一人でもいないように考えることができるようになった。 ・協力する。お互いにサポートすることができるようになった。 	学級会をすることが、相手の意見や立場を知ることになり、他者理解へとつながっている。そのことで相手のことを思いやり、互いに支え合う暖かな人間関係の構築が見られている。
社会参画意識	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーになってアドバイスする。 ・掃除で教室が綺麗になることが嬉しい。 ・親の手伝いをして、家でも掃除をするようになった。 	掃除や日直といった活動を通じ、人のために働く責任を感じているようになり、学校だけでなく家庭や広く地域においても、社会に一人として役に立ちたいとする意識や意欲が出てきている。
自尊感情 自己効力感	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は恥ずかしくて自分の意見が言えなかったが、自信を持って言えるようになった。 ・友達が最後まで話を聞いてくれてリスペクトしてくれる。 ・以前は恥ずかしかったが、今は自由に意見が言えるようになった。 ・日直でリーダーになることで、尊敬してもらっている。 	自分の意見が認められる、他者から承認されることにより、「自分はこれでいいんだ」といった自己肯定感を持つようになり、自信を持つことにも繋がっている。

(4) 今後のエジプトでの実践課題

合意形成の捉えが、全員の納得解ではなく少数派を説得することによる全員一致での決定となっている。そのことは、同調圧力を生むことに繋がり、日本の特活が批判されてきた集団主義的な特活に進む恐れがある。

謝辞：本研究は、令和5年度 文部科学省 EDU-Port ニッポン調査研究の助成を受けた。